タレント　十日市 秀悦 氏



テーマ　がんばればきっと誰かが見てくれる！
夢を持て！！

●開催校　八戸市立種差小学校
●日　時　令和８年10月23日 10：35～11：20
●参加者　１～６学年14名

START

南部弁の楽しさや魅力！

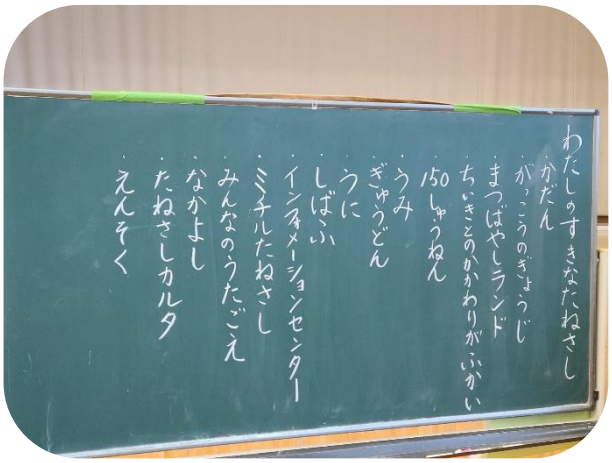
十日市さんは、八戸の方言である南部弁について、児童にも分かりやすく、楽しく紹介してくれました。可愛いという意味の「めんこい」などの言葉や、ご飯のおかわりの際に量を伝える言葉として「ちょぺっと」、「わっつり」など。実際に炊飯器に炊いたご飯を準備して、児童が声に出して体験する場面もあり、会場は笑顔に包まれました。
とっても可愛くなる魔法の言葉「～っこ」。「椅子っこ」、「茶碗っこ」普段何気なく使っている言葉にも、温かさや面白さがあることを学び、南部弁を身近に感じる機会になりました。





種差の好きなところを考える

十日市さんは児童に自分たちの住む地域や学校の好きなところを尋ねました。学校がきれいなこと、学校行事が楽しいこと、友達と仲良く過ごせること、地域とのつながりがあることなど、さまざまな意見がありました。
児童一人ひとりの言葉を受け止めながら、身近な場所や普段の暮らしは、ふるさとの魅力であふれていることを熱く語りました。さらに、みんなが教えてくれた「わたしのすきなたねさし」をギターを奏でながら歌ってくれました。





夢を持つことの大切さ

十日市さんは、小学生の頃から人を笑顔にする仕事に憧れ、夢を持ち続けてきたことについてもお話してくれました。
そのうえで、児童の皆さんは、電車の運転士・保育士・栄養士・医師・スポーツ選手・イラストレーター・声優など、さまざまな将来の夢が発表。十日市さんは一人ひとりの夢に温かい言葉をかけながら、「頑張ればきっとかなう」と歌ってくれました。
種差小の皆さんにとって、自分の夢や将来について考え、前向きな気持ちになれる素敵な時間となりました。





地域の言葉や文化を大切にする



講演の最後には、種差小学校の卒業生が作った文章を朗読してくれました。身近な風景や日常の暮らしを描いた作品を通して、地域の言葉で表現することの温かさが伝わってきました。
十日市さんは、参加してくれた保護者や地域の皆さんに向けて、南部弁を大切にし、子どもたちに伝えていってほしいと話されました。

講演後には、児童の皆さんから十日市さんに、南部弁について新しく知ることができたこと、これから日常生活で南部弁を使ってみたいこと、夢に向かって頑張りたいことなど、講演を通して感じた思いが伝えられました。
和やかな雰囲気の中、児童の皆さんにとって楽しく、心に残る講演会となりました。

十日市さん、南部弁大好きになったよ！
楽しい時間をありがとう！　あいしたー！



END